



はくろ（白鷺）の散歩Ⅴ

令和5年11月1日
～校長室の窓から～ 令和5年度 No.13
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

No.13では、翠星祭文化部門についての記事が続けます。

【中庭ステージ】

中庭の仮設ステージでは、10月21日（土）には、文化祭実行委員会、生徒会本部の催事が、10月22日（日）には文化祭実行委員会、図書委員会の催事が行われました。このうち図書委員会の催事は、好きな本を推すビブリオバトルです。



【PTAの協力】

毎年、翠星祭文化部門にはPTAも参加しています。PTAは、Chotto Chat というおしゃべりコーナーを開催するとともに、本校の校章の焼印が入った都まんじゅうを販売しました。保護者同士や本校PTAの役員と在校生の保護者、また受検を考えている小学生の保護者が、情報交換したり、本校受検に向けて在校生の保護者から情報を得たりしていました。



また、本校生徒を模した顔出しパネルも人気でした。

【後夜祭】

10月22日（日）の16時半からは、後期生のみ参加ですが、体育館で後夜祭が開かれました。ダンスの披露やバンドの演奏が行われ、大いに盛り上がりました。教員バンドも登場しました。

【翠星祭文化部門閉祭式】

10月23日（月）には、使用箇所の片付けのち、体育館で閉祭式が行われました。1年から5年までがブロックごとに座り、ブロック長のあいさつ、画像での振り返り、分野別の表彰が成された後、Bブロックの総合優勝が

発表され、実行委員長のあいさつで幕を閉じました。



なお、平塚中等教育学校の文化祭は「学び」ですから、午後には学活やLHRで翠星祭文化部門の振り返りを行いました。また、4・5年次生はブロックごとの振り返りも行いました。



【シナリオのない防災訓練】

10月27日（金）に、本校は新たな試みとして、「シナリオのない防災訓練」にチャレンジしました。生徒には「27日に防災訓練を行う」ということだけが伝えられ、シークレットの要素を多く残したままの実施でした。これは、実際の災害が何の予告もなくやってくることから、訓練のための訓練ではなく、想定外・予想外の事態に対応するために実施したものです。

2校時になり5分が経過したところで突然、訓練実施の合図に続いて緊急地震速報のメッセージが流れたのち、授業が中断され、訓練が始まりました。シェイクアウト後、教室にいる生徒・職員に震度や校舎内の損壊状況、待機の方針および余震への対処など情報の共有が図られ、生徒がまた余震に備えるというところで訓練は終わりました。



今回は初めての訓練形態で緊張した人がいるかもしれません。うまくいかなかった部分を感じている人もいるかもしれません。しかし、それこそがこの訓練の狙いです。予め準備をしないからこそ見えてくる、改善点や課題はこのスタイルの訓練でないと把握できないことでもあります。課題を改善して来るべき災害に備えたいと思っています。